

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	R3.9.16
開催日	R3.9.13	議案名等		一般質問 【当町の子どもへ伝えるSDGs（持続可能な開発目標）教育環境の現状は】	
会議名	定例会9月会議				
質問要旨	<p>これまでも教育現場ではSDGsの考えを取り入れているとのことだが、教育委員会としてこの考えを特別な時間、道徳の授業でも良いが、きちんと目標を明文化して明確にしていくべきと考えるが教育長のお考えを伺う。</p>				
答弁要旨 (答弁者：小野寺教育長)	<p>SDGsの学習は小学校6年生の社会科で、SDGsの意義や目標などについて学習しています。</p> <p>これまでも、小学校や中学校において社会科・道徳・総合学習等様々な教科で環境問題、人権問題など17の目標について学習に取り組んでいます。</p> <p>例えば、食品ロスの問題から貧困問題、環境問題に関連付けて考えさせています。</p> <p>子どもたちが持続可能な地域や産業の担い手となるために、必要な能力・資質が育成されるよう、持続可能な開発目標SDGsの考え方について、学習機会の創出に努めてまいります。</p>				
対応・進捗状況	対応済み (平成 年 月 日)	対応中		実施不可	
取り組み状況	<p>■令和4年6月10日 現在</p> <p>福島中学校では、4月に各教科書や副教材に位置付けられているSDGsの学習内容を基に、年間を通して指導していくことを確認しています。</p> <p>一例では、理科で「エネルギー資源の活用」、家庭科では、食品ロスの問題から「つくる責任・つかう責任」を踏まえた学習、道徳では、「安全な水とトイレを世界中に」を基に授業で取り組んでいくこととしています。</p> <p>なお、福島小学校及び吉岡小学校でも授業全体や日常生活の指導の中で、SDGsを意識した取り組みを行っています。</p>				
調査を終了する本会議		令和5年度定例会12月会議			
その他参考事項	追跡内容は上記の1項目としました。				